

# 小学校第4学年 音楽科学習指導案

日 時 平成16年11月12日(金)5校時  
児 童 北上市立黒沢尻北小学校 4年2組  
男子18名 女子16名 計34名  
指導者 教諭 梅木 典子

## 1 題材名 いろいろな音で

## 2 題材について

### (1) 教材観

本題材は、学習指導要領A表現(3)イ「音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。」(4)ア「音の組み合わせを工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること。」イ「即興的に音を選んで表現し、いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しむこと。」B鑑賞(1)ウ「楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組み合わせを感じ取って聴くこと。」を中心に学習を進めるものであり、楽器の音色の違いを感じ取り、それを生かした奏法や音の組み合わせを工夫して表現する力を育てることをねらいとしている。

ここでは、まず日本各地に古くから伝えられている「いろいろな地方のおはやし」を鑑賞し、使われている楽器やその音色に関心をもつことができるようにする。ここでは、太鼓や鉦のにぎやかな演奏に児童は興味を持って聴くことができると考える。次に、「音のカーニバル」で音をつくったり歌に合わせて表現したりする。この楽曲は、歌に合わせてながらつくった音を表現するのに適した楽しい曲である。そして、その音づくりの学習を生かし、「いろんな木の実」に合わせてリズム伴奏を工夫し表現することができるようにする。この楽曲は、リズムカルな曲調ののって楽しく表現することができる曲であり、本題材に適した曲であると考えられる。

### (2) 児童観

児童は、歌ったり楽器を演奏したりすることが好きであり、全校合唱や音楽の学習を楽しみ、のびのびと表現している。

4学年ではこれまでに、様子を思い浮かべながら工夫して歌ったり、旋律の特徴を感じ取って表現する学習をしてきた。その中で、範唱や範奏のよさにふれたり、それぞれの曲趣の特徴に気づいたりしながら聴くことができるようになってきた。また、「こんなふうにしたい。」という思いをもって表現しようとする様子も見られるようになってきた。しかし、その思いや聴きとったよさを表現に結びつけることができずにいる児童が多い。また、音に注目したり、音の出し方を工夫したりしながら演奏をつくっていくという力もまだ不十分である。

### (3) 指導観

本題材の指導にあたっては、まず、「いろいろな地方のおはやし」に加えて身近な郷土芸能にもふれながら鑑賞し、それぞれの楽器や音色に関心をもつようにしていきたい。その際に、お祭りの様子を見たり思い浮かべたりすることにより、一つ一つの楽器やその音色に注目し、その特徴を感じ取ることができるようにしたい。そして、いろいろな音素材に目を向ける手がかりとしたい。

次に、音をつくったり歌に合わせて表現したりする活動では、既製の楽器だけでなく身近な物で作った楽器の音も利用し、工夫の幅を広げていきたい。また、いろいろな楽器の組み合わせや奏法を試行錯誤しながら、よりよい表現にしていけるように場の設定や活動時間を考えていきたい。そして、表現したいイメージと楽器の音色、組み合わせ、奏法を関わらせて考え、表現することができるようにしていきたい。

最後に、リズム伴奏を工夫する活動では、前の活動でつくった音や楽器の組み合わせを生かし、リズムののって楽しく演奏して学習のまとめとしたい。

また、これらのどの活動においても、他の児童の表現のよさや工夫に目を向け、学び合いができるようにしていきたい。

### 3 題材の目標

- (1) いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせのおもしろさに関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組む。
- (2) いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫する。
- (3) いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かして楽器を演奏する。
- (4) いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を聞き取りながら、それらを生かした演奏を聴く。

### 4 教材

- (1) いろいろな地方のおはやし
- (2) 音のカーニバル                      作詞 芙龍明子              作曲 橋本祥路
- (3) いろんな木の実                      作詞 中山知子              作曲 西インド諸島民謡

### 5 題材の評価規準と学習活動における具体的評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点3 表現の技能	観点4 鑑賞の能力
題材の評価規準	・いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせのおもしろさに関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組んでいる。	・いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	・いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かして楽器を演奏している。	・いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を聞き取りながら、それらを生かした演奏を聴いている。
学習活動の動評に価お規け準る	打楽器やその音色に関心を持ち、響きの特徴や組み合わせのおもしろさに気を付けて聴こうとしている。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴に関心を持ち、楽器の組み合わせや奏法を工夫しようとしている。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴に関心を持ち、意欲的に器楽表現に取り組もうとしている。	いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせのおもしろさを感じ取っている。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴を感じ取って、楽器の組み合わせや奏法を工夫している。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を感じ取って、曲趣にあった演奏になるように工夫している。	いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かし、イメージに合う音を選んで表現している。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴を生かして、楽器の組み合わせや奏法を工夫しながら演奏している。 いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かして、曲趣にあった演奏をしている。	イメージに合った音色や響き、組み合わせの工夫によるよさを聴いている。  曲趣に合った音色や響き、組み合わせの工夫によるよさを聴いている。

6 指導と評価の計画（8時間扱い）

次	ねらい・学習活動	具体の評価規準との関連	評価方法等
1次	ねらい：いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴に気づきながら聴き、表現に生かす工夫をする。		
2時間	「いろいろな地方のおはやし」を聴く。 ・CDを聴き、音色やリズムを感じ取る。 ・おはやしについて知る。 ・自分たちの地方のおはやしと聴き比べる。 いろいろな打楽器の音色の特徴を感じ取る。 ・何の楽器の音が聞き分ける。 ・楽器を選び、いろいろな音の出し方を工夫する。 ・音色の違いを生かして、楽器の組み合わせを工夫する。	観点1 - 観点2 -	・態度や表情の観察 ・学習カードの利用
	ねらい：いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かし、表現を工夫する。		
3時間	「音のカーニバル」の曲の特徴を感じ取る。 ・CDを聴き、歌う。 ・拍の流れを感じ取って、手拍子を打つ。 ・音を分担し、手拍子を打つ。 ・どんなカーニバルにするか考える。 ・どんな楽器を使いたいかな考える。	観点1 - 観点2 -	・態度や表情の観察 ・学習カードの利用
	打楽器の組み合わせや奏法を工夫する。（本時） ・楽器の組み合わせを考える。 ・奏法を工夫しながらグループで練習する。	観点2 - 観点3 -	・グループ学習の観察 ・学習カードの利用 ・発言や態度の観察 ・グループ学習の観察
	互いの演奏を発表し、よさを感じ取る。 ・演奏を発表し合う。 ・工夫を認め合う。	観点1 - 観点3 - 観点4 -	・態度や表情の観察 ・演奏の聴取 ・発言や態度の観察 ・学習カードの利用
3次	ねらい：いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かし、表現する楽しさを味わう。		
3時間	「いろんな木の実」の曲の特徴を感じ取る。 ・CDを聴き、歌う。 ・二部合唱の練習をする。 ・譜例のリズムを手拍子で打ち、歌に合わせる。 リズム伴奏を工夫する。 ・楽器の組み合わせを考える。 ・奏法を工夫しながらグループで練習する。	観点1 - 観点2 -  観点2 -  観点3 -	・態度や表情の観察 ・学習カードの利用  ・グループ学習の観察 ・学習カードの利用 ・発言や態度の観察 ・グループ学習の観察
	互いの演奏を発表し、よさや美しさを感じ取る。 ・演奏を発表し合う。 ・互いの表現のよさや美しさを感じ取る。	観点1 - 観点3 - 観点4 -	・態度や表情の観察 ・演奏の聴取 ・発言や態度の観察 ・学習カードの利用

7 本時の学習(4/8)

(1) 目標

- ・いろいろな音素材の音色や響きの特徴を感じ取り、イメージをもって楽器の組み合わせや奏法を工夫する。
- ・いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かし、イメージに合う音を選んで表現する。

(2) 本時の具体の評価規準と児童の学習状況

児童の学習状況 具体の評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる
<p>【観点2 - 】</p> <p>いろいろな音素材の音色や響きの特徴を感じ取り、イメージをもって楽器の組み合わせや奏法を工夫している。</p>	<p>&lt;グループ学習の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな楽器の組み合わせや奏法を試しながら工夫し、グループ全体の表現をよりよくする役割ができています。</li> </ul> <p>&lt;学習カードへの記述&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奏法などについて工夫する内容を具体的に書いている。</li> </ul> <p>(記述例)</p> <p>「星がきらきらしている様子が分かるように、トライアングルの端のところを細かく打つ。」</p> <p>「カーニバルが近づいて来るように、だんだん強くたたく。」</p> <p>&lt;発言や態度の観察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の組み合わせや奏法の工夫という観点からよさを見つけ、具体的に発表している。</li> </ul> <p>(発言例)</p> <p>「星の様子が分かるように、金属の楽器を合わせていました。」</p> <p>「トライアングルの端のところを細かく打っていて、星がきらきらしているようでした。」</p>	<p>&lt;グループ学習の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな楽器の組み合わせや方法を試しながら工夫している。</li> </ul> <p>&lt;学習カードへの記述&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奏法などについて工夫する内容を書いている。</li> </ul> <p>(記述例)</p> <p>「のばすようにたたいたり、細かくたたいたりする。」</p> <p>「強くたたいたり、弱くたたいたりする。」</p> <p>&lt;発言や態度の観察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の組み合わせや奏法の工夫という観点からよさを見つけている。</li> </ul> <p>(発言例)</p> <p>「よく響いていて星の様子がよく分かりました。」</p> <p>「いろいろなたたき方をされていて様子がよく分かりました。」</p>
<p>【観点3 - 】</p> <p>いろいろな音素材の音色や響きの特徴及び音の組み合わせの特徴を生かし、イメージに合う音を選んで表現している。</p>	<p>&lt;グループ学習の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージに合った音色や奏法を適切に選び、演奏している。</li> </ul>	<p>&lt;グループ学習の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージを考えながら音色や奏法を選び、演奏している。</li> </ul>

(3) 努力を要する児童(C)への支援や手だて

<p>【観点2 - 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の組み合わせや奏法の例を示し、そこから工夫を広げていけるように助言する。</li> <li>・教師とのやりとりやグループでの話し合いの中で自分の考えを明確にしていけるように助言する。</li> <li>・お互いの演奏を聴き合う場面では、表現したいイメージを想起したり、自分たちの演奏と比較したりしながらよさを見つけていけるように助言する。</li> </ul>
<p>【観点3 - 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のもっているイメージを擬音語などで考えさせたり、奏法の例を示したりして、表現に結びつけていけるようにする。</li> </ul>

(4) 展開

時間	学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ 学習活動における具体的評価規準	資料・教具等
10	<p>1 既習曲を歌う。 ・「すてきな友達」を合唱する。</p> <p>2 前時の学習を想起する。 ・「音のカーニバル」を手拍子を打ちながら歌う。 ・グループ毎にどんなカーニバルにしたいか確認する。</p> <p>3 課題をつかむ。 楽器の組み合わせやたたき方を工夫して演奏しよう。</p> <p>4 演奏を工夫する。 ・楽器と分担を決める。  ・歌に合わせてながら、たたき方を工夫する。</p>	<p>心をこめて歌い、本時の活動につなげていく。</p> <p>リズムを打つところを確認するとともに、どんな演奏にしたいか前時に話し合ったことを想起し、課題につなげる。</p> <p>いろいろな組み合わせで演奏してみる中で、楽器の組み合わせを決定していくようにする。 たたき方、強弱、リズムの3つのことを中心に工夫することを確認する。 表現したいイメージと楽器の音色、組み合わせ、奏法を関わらせながら工夫していきけるように投げかけていく。 グループを回り、それぞれが自分たちの思いに合った演奏ができるように支援する。 観点2 - 観点3 -</p>	<p>・ピアノ 伴奏</p> <p>・紙板書 ・学習カード</p>
30	<p>5 演奏を交流する。 ・いくつかのグループの中間発表を聴く。</p>	<p>演奏のよいところを学び合い、次時の活動につなげることができるようにする。 観点2 -</p>	<p>・打楽器</p>
5	<p>6 学習のまとめをする。 ・本時の学習をふりかえり、感想をもつ。 ・次時の予告をする。</p>	<p>自分の頑張りや友達のをさをふりかえり、次時の意欲につなげる。 次時は、さらに工夫や練習を重ねてよりよい演奏にしていくことを知らせる。</p>	